

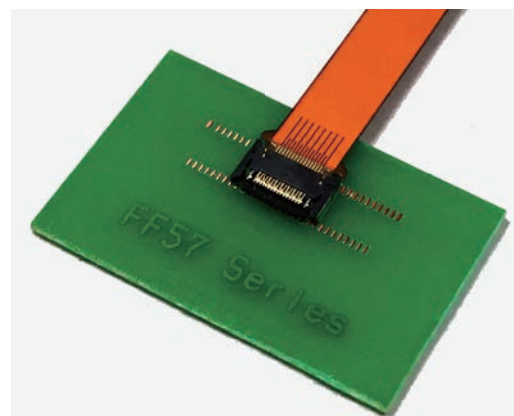
0.175 mm ピッチ超低背 FPC 用コネクタ 【上接点タイプ】

FF57 Series



概要

FF57 シリーズは、0.175mmピッチ、奥行き 3.0mm、高さ 0.5mmの超低背狭ピッチ FPC コネクタです。ケーブルロック機構を備え、高い FPC 保持力の上接点専用コネクタです。



特長

- ◆弊社独自のカム式バックロック採用により、確実な作業が行えます。
- ◆弊社独自のケーブルロック機構を採用し、FPC 保持力不足を解消いたします。
- ◆コンタクト接点は、上接点です。
- ◆ニッケルバリアの採用により、はんだ上がりを防止しています。
- ◆FPC を上方向に引張り上げても、ロックが開きません。
- ◆ロック解除状態で納入の為、作業前にレバーを開く必要がありません。
- ◆ハロゲンフリー対応

注意 ※ FPC を挿入しない状態でロックレバーを閉じないで下さい。
 ※ FPC をコネクタに嵌合すると、ケーブルロックタブは両端の端子と導通します。
 ケーブルロックタブをグラウンドに落とさないで下さい。

用途

液晶バックライト、タッチパネル、アクセサリ接続など

仕様

定格電圧	AC 50V (r.m.s.)
定格電流	0.2A / コンタクト
耐電圧	AC 200V(r.m.s.) / 1 分間
絶縁抵抗	DC 250V で 50 MΩ 以上
接触抵抗	80m Ω 以下

材質 / 表面処理



部品名	材質/表面処理
コンタクト	銅合金 / Ni 下地 Au フラッシュめっき
ハウジング	LCP 樹脂 (UL94V-0) / 黒色
レバー	PPS 樹脂 (UL94V-0) / 黒色

◎このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

▶ 0.175mm ピッチ FPC コネクタ【上接点タイプ】

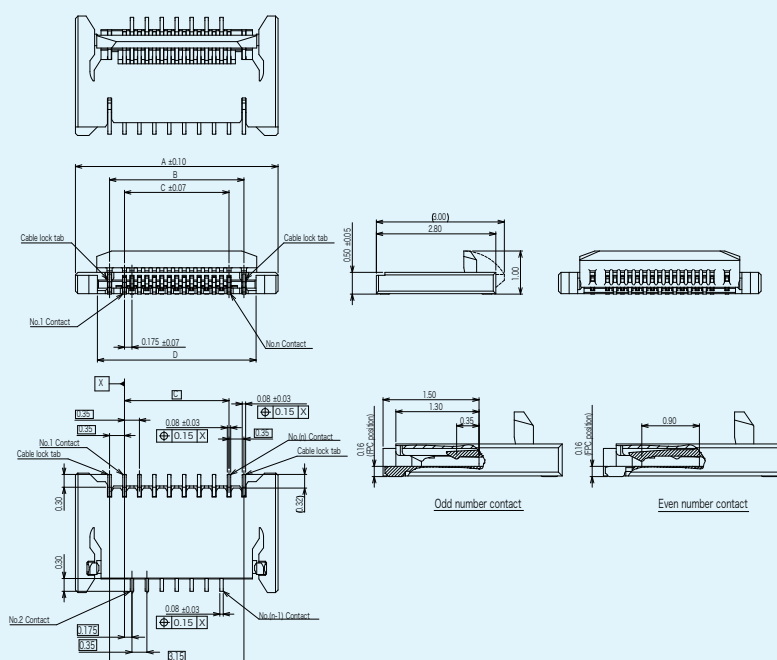
FF57- □□ A-R21A-B-3J

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

①シリーズ名	FF57
②芯 数	表ー 1 参照
③接点形状	A：上接点、適合 FPC 厚：0.12±0.02mm
④コンタクトスタイル	R：ライトアングル
⑤コンタクト材料	2：コルソン合金
⑥コンタクト表面処理	1：Ni 下地 /Au（フラッシュ）めっき
⑦ロックレバー形状	A：標準タイプ
⑧ハウジング色	B：黒
⑨材料	3J：ハロゲンフリー、PFAS フリー

◆外形寸法

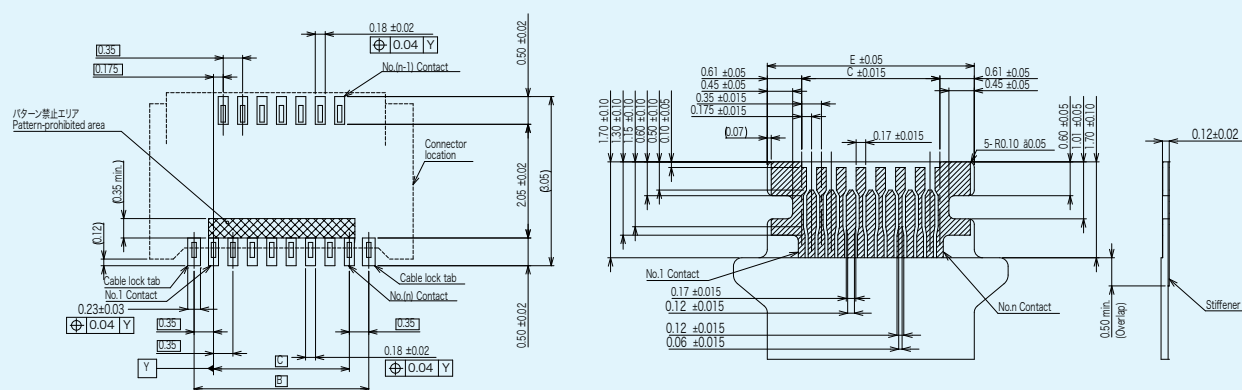
奇数芯数の場合



◆推奨基板取付寸法

No.1 端子を基準に千鳥に配列。

◆適合 FPC 寸法

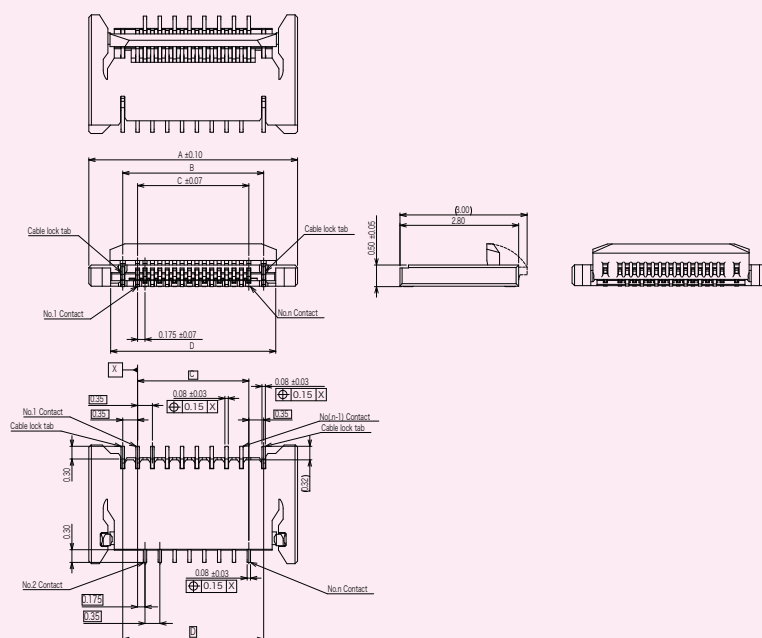


©このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

<https://www.connector.fujikura.com>

偶数芯数の場合



◆適合 FPC 寸法

No.1 端子を基準に千鳥に配列。

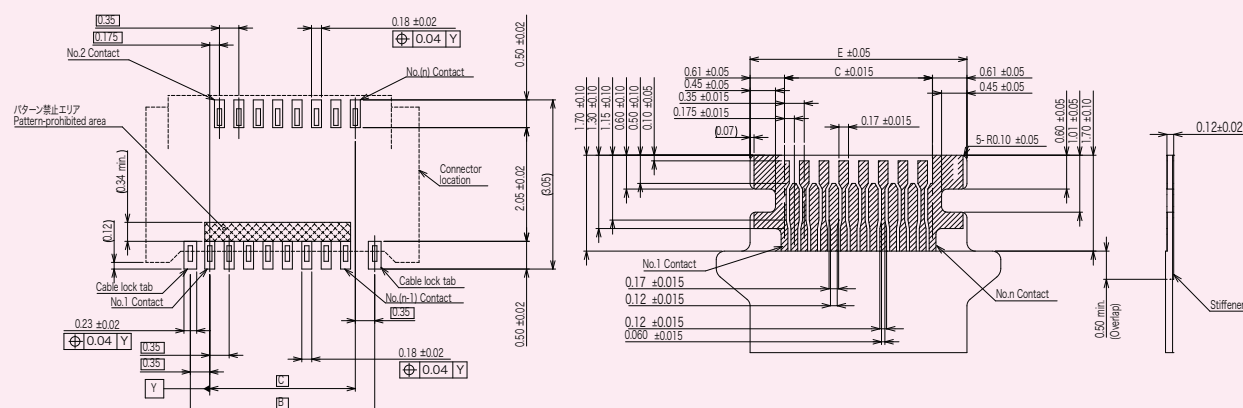


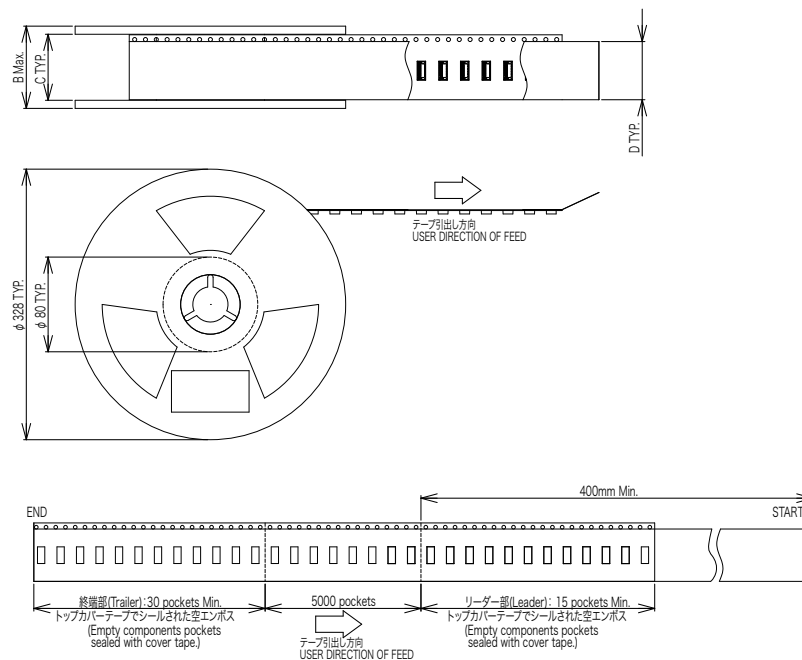
表-1

品 名	芯 数	A	B	C	D	E
FF57-16A-R21A-B-3J	16	4.925	3.325	2.625	3.895	3.845

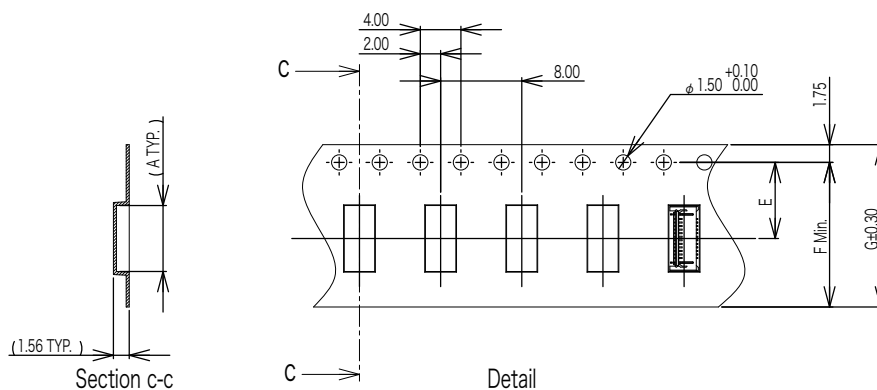
また、掲載している製品の特長、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

梱包仕様

■リール状態寸法図



■エンボスカリヤテープ寸法図



品 名	芯 数	A	B	C	D	E	F	G
FF57-16A-R21A-B-3J	16	5.08	22.4	16.4	13.5	7.5	14.3	16.0

■梱包単位：5,000 個 / リール

©このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

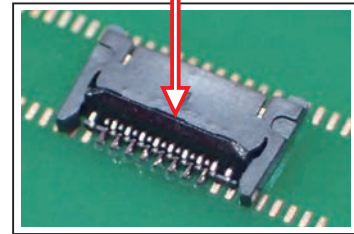
<https://www.connector.fujikura.com>

▶ コネクタ操作方法と注意点

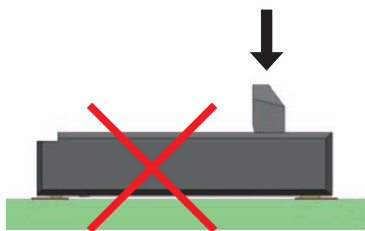
1. コネクタ実装状態

- ・ロックレバー開放状態での納入となりますので、
FPCを挿入する前に、ロックを操作する必要はありません。(写真①)
- ・ロックを閉じた状態でリフロー実装をしないで下さい。
- ・FPC 未挿入状態でロックレバーを閉じないでください。
FPC 未挿入状態でロックレバーを閉じると、接点間ギャップが狭くなり、
FPC 挿入力が上昇します。
- ・ロックレバー真上から、荷重をかけないで下さい。(図①)
又、反ロック方向に荷重をかけないで下さい。(図②)
ロック破損、もしくは端子変形の原因となります。

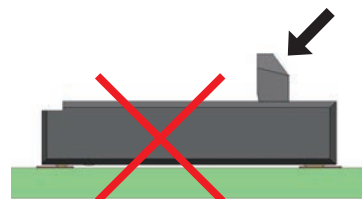
納入時のロックレバーは解放状態です



写真①

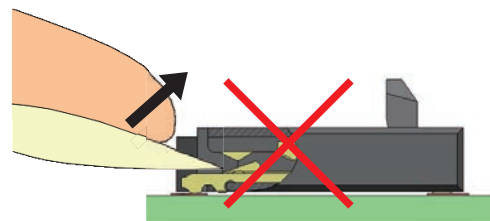


図①



図②

- ・コネクタのFPC挿入口に爪等を引掛けないでください。
コネクタ破損の原因となります。(図③)



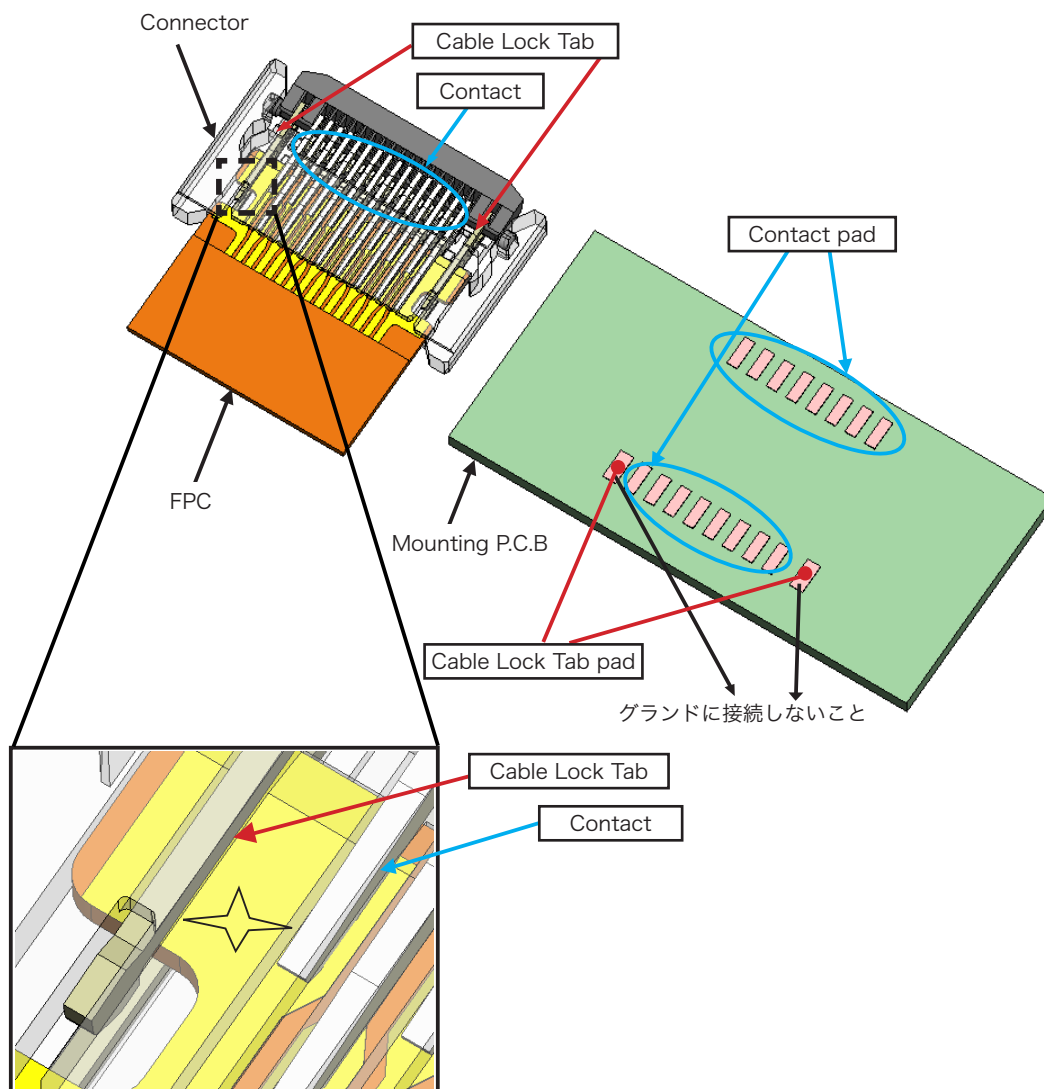
図③

◎このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

▶ コネクタ操作方法と注意点

FPC をコネクタに嵌合すると、ケーブルロックタブは両端の端子と導通します。
実装基板側のケーブルロックタブをグラウンドに落とさないでください。(図④参照)



図④

◎このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

▶ コネクタ操作方法と注意点

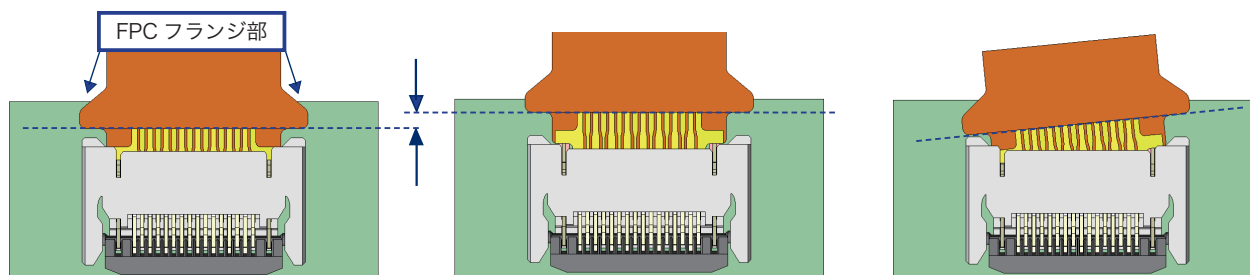
2. FPC 挿入方法

- ・ F P C 導体面を写真②の方向にして、挿入します。(正：写真②、誤：写真③)
- ・ F P C をコネクタに対して真っすぐに挿入して下さい。
F P C 仮保持機構を採用している為、挿入に若干の力が必要です。
F P C がしっかり奥まで挿入出来ているか、確認してください。



3. FPC 確認方法

- ・ フランジ付き FPC の場合、フランジの位置を確認することにより
浅挿入・斜め挿入を確認・防止することが出来ます。(図⑤、図⑥、図⑦)



図⑤：正常挿入状態

図⑥：浅め挿入状態

図⑦：斜め挿入状態

* ケーブルロックタブが FPC に引っ掛かっていれば、FPC パターン部から接触端子が脱落することはありません。

◎このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

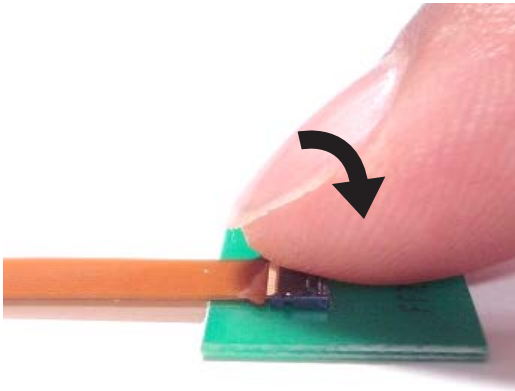
また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

<https://www.connector.fujikura.com>

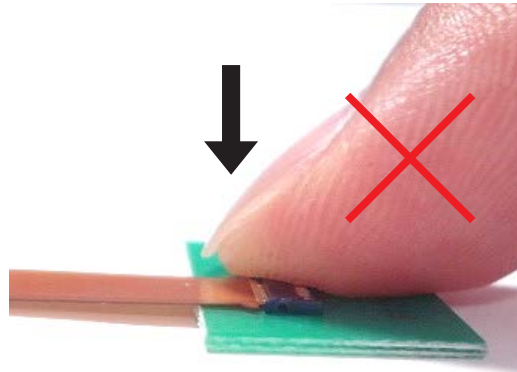
▶ コネクタ操作方法と注意点

4. ロック方法

- ・回転させる要領で、ロックレバーを押し下げます。(写真④)
- その際に、ハウジングに無理な力をかけないように注意して下さい。(写真⑤)

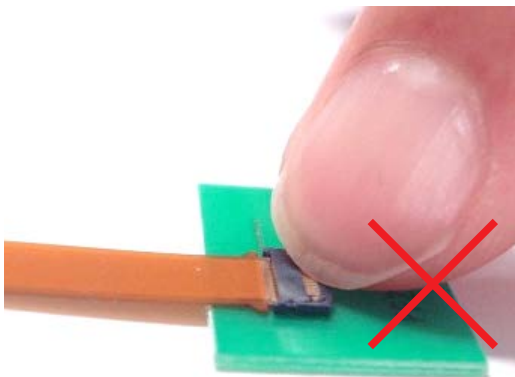


写真④

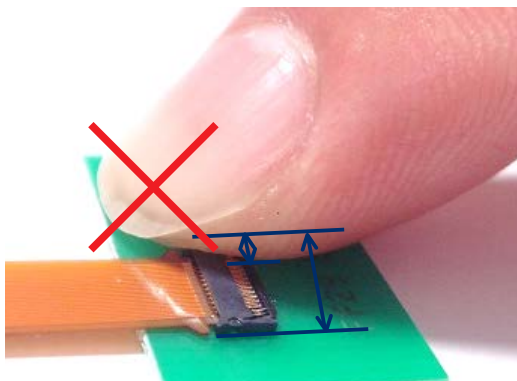


写真⑤

- ・爪の先端でロックしないでください。ロック破損の原因となります。(写真⑥)
- ・ロックレバー端部をロックする場合は、少なくともロックレバー全幅の半分以上の幅を押して下さい。(写真⑦)



写真⑥



写真⑦

◎このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

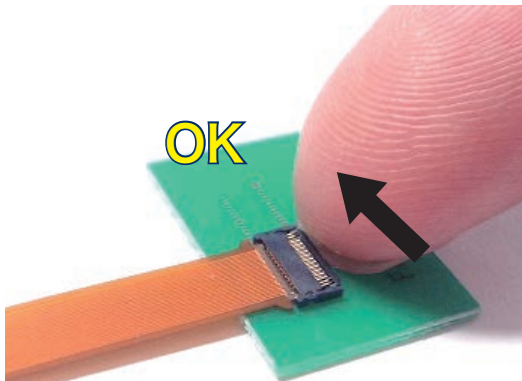
また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

<https://www.connector.fujikura.com>

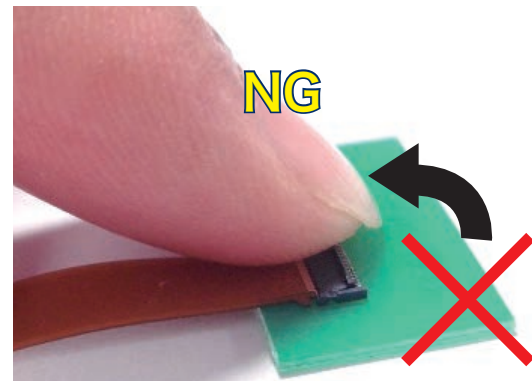
▶ コネクタ操作方法と注意点

5. FPC 抜去方法

- ・ ロックレバーを矢印方向に軽く跳ね上げる要領で、押し上げます。(写真⑧)
その際に、必要以上の力をロックレバーにかけないように注意して下さい。(写真⑨)



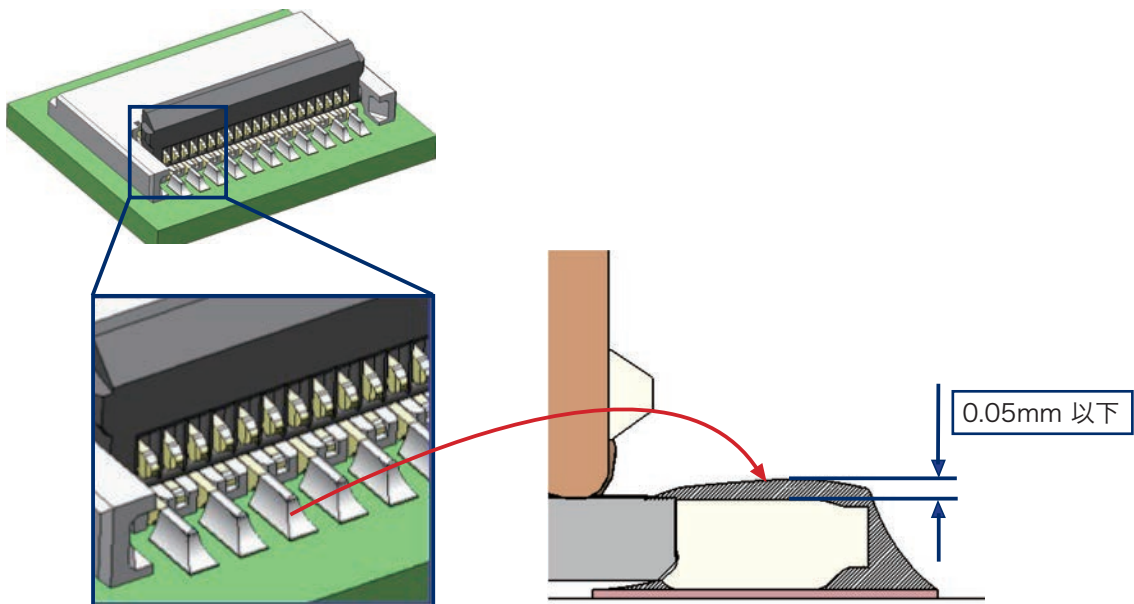
写真⑧



写真⑨

6. その他

- ・ 手はんだ実装時、過量のはんだを盛らないでください（端子上 0.05mm 以下）。(図⑧)



図⑧

7. ESD(静電耐電圧)

本コネクタは、ESD 対策をしておりませんので、取扱時には注意して下さい。

8. コネクタ廃却方法

産業廃棄物として処理して下さい。

◎このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

<https://www.connector.fujikura.com>